

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援みらくキッズHOME			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月17日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日 ～ 令和7年4月17日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月22日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	◎プログラムの内容が充実している。 SST、運動、感覚、制作、指先、年長カリキュラム、クッキング、月行事。戸外での活動も公共交通機関を使ったり、外部から英語やカラーセラピーの講師も招いて様々な活動を取り入れています。また、ご家族で参加できるイベントや保護者会も毎月開催しています。	・スタッフ全体で案を出し合い、チームでプログラムを作成しています。 ・大きな行事は3か月前から話し合い、系列事業所合同で会議を行い意見交換をしています。 ・保護者会で保護者同士の交流や悩みを共有できる環境を提供しています。	今後は、地域資源を活用しながら子どもたちが色々な人との関わりが持てるようにプログラムの内容を作成していきます。保護者会にて保護者様からの要望聞き取りしながら活動に反映させて行きます。
2	◎環境が整っている。 事業所内は、広いスペースや各フロアを用途別に使うことで個別の対応や落ち着いて活動することができています。庭やテラスもあり様々な活動が取り組みます。 また、近隣には公園もあり戸外活動もスムーズに行えます。	・療育中も、個別に応じてクールダウンする場所の提供や年齢に応じたグループ別の活動を行っています。 ・テラスではボール遊びをしたり、庭ではガーデニングを行っています。	・整った環境の中で、広い庭では野菜を作り育てるなど食育を行ったり、できることをスタッフ間で話し合い環境の整備を行いながら活用して行きます。
3	◎保護者とのお子様の情報共有が密である。	・療育時に体調不良や、行動面で等気になる様子があった場合は必要に応じてすぐに連絡をして保護者様と相談、メールをするなどして迅速に対応しています。	・保護者との連絡事項は、スタッフ間でもしっかり把握して共有できるように連携を取っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	◎マニュアル等の周知について	・マニュアルを作成しているが、保護者様に対して周知不足が見受けられます。	・文書以外にも、SNSやメール、口頭でも伝えスタッフ間でもしっかり共有していきます。
2	◎ペアレントトレーニングの実施について	・日程を設けてペアレントトレーニングの実施はできていない状況ですが面談時や送迎の際やお電話でもご相談を受けてアドバイスをさせて頂いています。	今後、保護者様からの意向を受けながら必要に応じて専門的なペアレントトレーニングの実施を検討していき、職員研修も取り入れ、スキルの向上を図ります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援みらくすキッズHOME
------	-------------------

公表日 令和7年 5月 6日

利用児童数 22名

回収数 21名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	1				定められた基準に基づいてスペースを確保しています。また活動に応じて部屋を分けるなどして、より広いスペースでのびのびと活動が行えるよう可能な限り工夫しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21				・いつも丁寧に関わっていただきありがとうございます。 ・人数も十分でみんな優しいです。	ご意見ありがとうございます。 配置基準をもとにその日の利用人数によって安全に活動が行えるように配置を行っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1		1	見通しを持ちやすく、動きやすいと思います。	ご意見ありがとうございます。 外玄関にはスロープがあり、室内はベビーゲートやドアクションを使用し安全に過ごせるようにしています。また、床にラインを引くことで走っていい場所などの区切りを視覚的に分かりやすく伝えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					・毎日の清掃、整理整頓を徹底しこまめに寒暑も行い感染症対策も行っていきます。 ・当日の活動の流れを絵カードを貼って視覚的に分かりやすく工夫し活動が行えるようにしています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				・手指活動が多く、少しずつできることが増えていえるように感じます。 ・子どものことをよく理解してくれて私より理解してくれる様に感じます。	ご意見ありがとうございます。 今後も定期的な面談を実施しながら保護者様やお子様のニーズに沿った的確な支援を行っていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					・5領域に沿った支援プログラムを作成して書面で保護者へ配布、ホームページでも公表しています。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					定期的に面談を実施し、現状のお子様の様子やアセスメントをしっかりと行い保護者様とお子様のニーズに沿って個別支援計画を作成しています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					・定期的にアセスメントを行い、本児と保護者のニーズに沿った個別支援計画を児童発達支援ガイドラインに基づいて作成しています。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					個別支援計画に基づいた支援が行えるように、朝礼等で支援内容を確認しています。また支援についての方法を共通理解できるように会議も実施しています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				様々なプログラムがあり、毎月楽しみにしています。	季節の行事を取り入れたり、クッキングなどお子様の希望も受け入れながら活動を変化させ療育を行っています。また、スタッフ全体で意見を出し合い楽しく活動ができるように考慮しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	4		9	週に1回の利用なので分かりません。 消防署見学、とても楽しかったようです。	令和6年度は、地域の保育園との交流を予定していましたが、感染症のため中止となってしまい実施できていません。再度検討して参ります。また、活動の中では児童センターなど地域交流を積極的に活用し交流が図れるよう行っています。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	20	1				契約時に重要事項説明書に沿ってご説明しています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				児童発達支援管理責任者から説明を行い、同意をいただいています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	1			仕事が抜けられず、参加できずですが余裕があるとき参加したいです。	現状では、日程を設けてペアレントトレーニングの実施はできていませんが、面談時や送迎の際やお電話でもご相談を受けてアドバイスをさせて頂いています。今後、保護者様からの意向を受けながら必要に応じて専門的なペアレントトレーニングの実施を検討していきたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21				・降車時に、その日の様子や活用内容を教えていただき感謝致します。スタッフの愛情が伝わります。 ・おたより帳に事細かく記入してくれたり変化があるとすぐに連絡してくれるので安心です。	利用時の様子や活動内容を連絡ノートへ記載し、必要に応じてメールなどにもご連絡。送迎の際にも、保護者とお子様の情報共有を行っています。今後も密に情報共有させて頂きます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21				ヒヤリングなどが定期的にあるので相談がしやすいです。	定期的な面談を実施するとともに、お電話でもご相談を受けアドバイスさせて頂いています。今後も面談を通して保護者様、お子様に寄り添った支援をさせて頂きます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1			SNSなど、伝達事項等、丁寧な返事があり、共感的だと感じます。	保護者様やお子様の意向を職員同士で共有し、寄り添った支援を心がけています。今後も丁寧に情報共有しながらお伝えしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21				・イベントも多く楽しみにしています。 ・保護者会等で交流もでき、父母に寄り添った話し合いで心が軽くなります。 ・イベントも楽しくて、兄弟も次のイベントを楽しみにしています。	今後とも家族参加型のイベントを通じて保護者様やお子様の交流の機会ができるように毎年、楽しいイベントを企画していきます。保護者会では参加人数が少ない時には各事業所との合同で行えるよう検討していきたいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1			契約時に相談窓口を設けていることをお伝えしています。その際は、ご相談内容に沿って適切な職員で対応できるよう配慮しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				保護者へは口頭のみではなく、メールやLINEなどの文章で見て分かる媒体を使うよう配慮を行っています。児童に対しても絵カードを使い意思を伝えやすくなるよう配慮しています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21			インスタで様子を知ることができ、本人とも共感することができます。	今後もSNSを活用し日々の活動の様子や情報の発信を行っています。開所1年目となるので自己評価の結果は今年度よりホームページへ記載させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				書類は鍵付きの書庫にて保管しています。日々の活動を発信するSNSでは保護者や関係者のみの閲覧に制限し、活動写真は顔出し有無を保護者の意向に沿って編集しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		4	各マニュアルをガイドラインに沿って策定し、ホームページに記載または、契約時にご説明させていただいていますが周知不足が見受けられるため今後、保護者様へ周知を徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			3	年に3回、地震・津波・不審者についての避難訓練を実施しています。定期的に行った避難訓練や内容を申し送りやSNSを活用して共有していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	1			今後、計画をもとにSNS等を活用して周知して参ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	1			事故の際には速やかに保護者へ連絡し、詳しい状況を伝え、かかりつけ医院や協力医療機関へ受診を対応を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	1			少しずつですが、スタッフさんや通っているお友達の名前が増えていきます。時間はかかりましたが本人にとって安心できる場所になっているといいなと思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3			・行き渋りはあるが、通ったあとは楽しいと言っています。 ・とても楽しみにしていて「今日はみらすくだよ」というと「よっしゃー！」と喜んで行ってくれます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	1			すごく満足です！！ いつも丁寧な関わり、対応ありがとうございます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援みらくキッズHOME		令和7年 5月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・活動に応じて部屋を分けるなどして、より広いスペースでのびのびと活動が行えていると思います。 ・静と動の遊びを分けられている。 ・定められた基準に基づいてスペースが確保されている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・適切に配置できています。 ・送迎・休憩等しっかりと対応できるスタッフが確保されている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・外玄関にはスロープ設置、室内もフラットな作り。ベビーゲートやドアクッションを使用し安全に過ごせるようにしている。当日の活動の流れを絵カードを示し視覚的に分かりやすく工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日の清掃、整理整頓を徹底し感染症防止のため喚起もできるだけこまめに行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・個室としても使用できる部屋を用意しています。 ・課題の時間中、周りの子の様子が気になり集中しにくい場合やクールダウンの際は仕切りを使うなどして空間を分けたり、午睡部屋を活用するなどして対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・朝礼や会議、1日の業務終了後にその日の様子を職員間で振り返り、気づいた点などを話し合い次回の活動・療育につなげています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・会議で、保護者評価表を基に意見を把握し足りていない業務については職員全員が理解し、話し合い改善に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎月、職員会議を行い職員の意見を取り入れ業務改善につなげています。また、スタッフの意見が反映できるように意見箱も配置しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		・現在のところ、第三者による外部評価は実施していないが必要性を検討した上で、今後体制を整えていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・虐待研修を定期的に実施しています。 ・管理者連絡会等で行われた研修ないようを周知したり、研修日程をスタッフへ共有している。	スタッフの希望も聞き取りしながら、外部研修または事業所内での研修を検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・5領域に沿った支援プログラムを作成して書面で保護者へ配布、ホームページでも公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・日々の児童の経過記録を基にアセスメントを行い、保護者から日常の様子やご希望を聞きながら支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・支援会議で児童の日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援方法を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・日々の経過記録表に支援計画を記載し、計画に沿った支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・職員間では経過記録を作成、保護者とは連絡帳やメール、お電話、送迎時などこまめに聞き取りができる状況を作り、確認できるようにしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・定期的のアセスメントを行い、本児と保護者のニーズに沿った個別支援計画を児童発達支援ガイドラインに基づいて作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員のアイデアを取り入れプログラム作成を行っています。活動毎に役割分担がされていますが、準備や実施は協力して行っています。	

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		・季節の行事を取り入れたり、クッキングなどお子様の希望も聞きとりながら日々の活動を行っています。 ・年長クラスは就学へ向けたプログラムを段階ごとに設定しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・児童の発達段階に応じた活動目標を設定しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・当日の朝に流れを確認、外出などの際は前日には計画書を職員間で共有しています。	・パートスタッフとの時間調整が難しい場合があり、前日の話し合いや、メールでのやり取りをさらに徹底し連携していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・経過記録を記入する際等、当日の振り返りを行い、連絡事項などの共有、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・日々のお子様の様子を記録し、経過記録を作成。保護者とのモニタリングの際に、的確にお伝えできるよう役立てています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・計画支援に沿ったモニタリングを定期的に実施し、その都度保護者の希望に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・会議前には、対象児の日々の経過記録や職員と情報共有を行った上で児童発達支援管理責任者が参加しています。	・会議前には、対象児の日々の経過記録や職員と情報共有を行った上で児童発達支援管理責任者が参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・協力医療機関は定めており重要事項説明書にも記載して契約時に説明しています。 ・保育所との交流を予定したり（感染症のため中止）、各関係機関との担当者会議を行い支援につなげている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・担当者会議や送迎時に情報共有を行っています。 ・移行支援に向けて、小学校や各保育園・幼稚園と会議を行ったり随時、情報共有できるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		・移行支援に向けて、放課後等デイサービスや小学校、各保育園・幼稚園と会議を行ったり随時、情報共有できるようにしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	・市の連絡会でされている研修等へ参加しスタッフへ周知している。 ・利用児童の併用先児童発達支援センターでは児童の対応方法等や支援方法を共有している。	必要に応じて、地域の児童発達支援センターと連携を図りスーパーバイズを受ける機会を検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		・児童館や公園などの外出時には利用されている他のお子様と交流を持つ機会があります。また、保育園やデイサービスへの交流を実施計画。（6年度は感染症により中止となっている）	6年度は企画していたが感染症により中止となったので今年度も、計画を立て実施したい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳でのやり取りや、送迎時にその日の様子を伝えたり、保育園送迎でお会いできない保護者へは電話やメールなどで連絡を取れる状況を作っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・プログラムは作成されていないが、相談や困りごとがあった際に支援の方法を提供し、記録化している。	日程を設けてペアレントトレーニングの実施はできていませんが今後、保護者様からの意向を受けながら必要に応じて専門的なペアレントトレーニングの実施を検討していきたいと思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に重要事項説明書に沿ってご説明しています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・ご家族の意向・要望をモニタリングし、意思を尊重しながら支援計画を作成しています。作成後はしっかりとご確認いただき、変更がある場合には再度モニタリング実施を行っています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・児童発達支援管理責任者から説明を行い、同意をいただいています。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・保護者との面談や電話、メールでの相談支援を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・毎月、保護者会や保育参観を実施しております。 ・夏祭りやクリスマス会など家族の皆様が楽しめるようイベントを実施し交流の場を設けている。	今後、保護者会で参加人数が少ない場合には、各事業所と合同で行える機会も検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		契約時に相談窓口を設けていることをお伝えしています。その際は、ご相談内容に沿って適切な職員で対応できるよう配慮しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・HPやSNSを活用し日々の活動の様子やお知らせなどの情報の発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・書類は鍵付き書庫にて保管しています。 日々の活動を発信するSNSでは保護者や関係者のみの閲覧に制限し、活動写真は顔出し有無を保護者の意向に沿って編集しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・配慮の必要な保護者へは口頭のみではなく、メールやLINEなどの文章で見分かる媒体を使うよう配慮を行っています。お子様には1日のスケジュールを絵カードで示し、短編的に分かりやすく伝えるなど配慮しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	6	1	・地域の方と交流を目的にハロウィンイベントに参加してもらったり、夏祭りやクリスマス会ではご家族やボランティアで演奏会をしてもらっている。	イベントを企画する際には、地域の方も気軽に参加出来るように、保護者の意向も踏まえながら検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1	HP・SNSへ、マニュアルを周知しています。	・各マニュアルをガイドラインに沿って策定しているが、保護者へ周知不足が部分が見られるためしっかり周知ができるようにしていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPを策定、避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時に保護者に確認を行っています。 ・服薬対応の必要なお子様は服用時の時間記入を行い、てんかん発作の対応についても作成し全スタッフで共有している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	保護者との聞き取り、共有を行っている。	対象児童が病院受診した際には都度、医師からの指示に基づいて対応していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・年二回、火事と地震を想定した避難訓練を行っています。 ・送迎車両の点検、置き去り防止のためのチェック表を実施。室内は、ドアストッパーやベビーゲートで事故防止を行っています。	必要に応じて安全計画書を作成し、周知していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		・計画に基づいて、保護者との連携が図れるよう改めて周知を行っていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・記録に残し常に職員間で共有し、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的に虐待研修を行い、職員間で虐待に対する対応方法を共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		7	対象となる児童がいなかったため基準などは設けていないが、今後必要となった場合は組織で話し合い決定、ご家族にも了承をいただいたうえで計画に記載していきます。	今後必要となった場合は保護者・職員全体・相談員・役所との話し合いを行い決定し、お子様やご家族にも了承をいただいたうえで計画に記載していく。